



『読者の声お返事コーナー』

このコーナーは、本市広報誌である「広報ひおき」内の読者の声に協力していただいた方へのお返事ページです。広報誌に掲載させていただいたお便りから、残念ながら誌面のスペース上の関係で掲載することができなかつたお便りまで。協力していただいた感謝の気持ちを込めて、隣でキャラクターがお返事書かせていただいております。今後とも本市広報誌「広報ひおき」をよろしくお願ひします!!



9月号のお題

～先月のお題は『まち研へのメッセージ話』でした～

ウミガメ観察会をラジオ放送で知り、我が子をウミガメ放流に連れて行った時の事を思い出しました。そこで次は孫を連れていこうと思ったところ、夜のイベントで4歳の孫には無理と諦めました。

しかしこうしてひおきのページで子どもさんの満足な笑顔と様子を知ることができ、次のイベントは、孫と一緒に出席して経験して楽しめたらいいなと期待しています。

(インジョーイさん 日吉町 50代女性)

今回里帰りし、家族でウミガメ観察会へ参加させていただきました。ワクワクしつつも、子どもがぐずらないか心配でしたが、問い合わせにも快く返答していただき、安心して参加できました。

おかげで子どもたちも楽しく歩くことができました。日ごろできない貴重な体験ができました。これもまち研の方々のおかげと知ることができました。ふるさとのよさを子どもたちに知ってもらうよい機会となりました。ありがとうございました。

(T・Iさん 静岡県 40代女性)



お便りありがとうございます!私も担当のご主人と一緒に同行した時に小さい子がいらっしやって驚きました!!でもみんなすごく楽しそうで良かったなと。来年もまち研で計画される予定みたいなのでもしよろしければぜひ!!

お便りありがとうございます!まち研の方々もイベントを企画された時に「日置市のよさを知って欲しい」ということをおっしゃっていました。まち研の方々にもお伝えさせていただきますね!!ぜひまた遊びに来てくださいませ♪



読者の声information

平成24年5月号の編集たいむでひそかにお知らせさせていただいた「読者の声応募BOX」の設置をしています!!本庁、各支所にそれぞれ設置をしています。応募BOXの横の広報誌キャラクターがお便りをお待ちしています。

皆さまが気軽に読者の声に応募することができるように、設置させていただきました。市役所に少し用事がある時でもご利用いただけるとうれしいです。もちろん郵送料、切手代はいりません!!心からお便り楽しみにお待ちしております。皆さまと作る「読者の声」を今後ともよろしくお願ひします。





フリートーク

～日置市のこと、身近な話題等なんでもお聞かせください～

今年の夏とある記念館の存在を知った。その記念館は美山にある「東郷茂徳記念館」だ。東京からの研究者の依頼でそこに行くことになった。今までこんな近くに住んでいながらその存在を知らなかった。

東郷茂徳が獄中で書いたノートを手に取り涙を浮かべていた研究者。2日間にわたる彼の業績の話はとても感動的だった。研究者は来年あたりに本を出す予定だという。今からとても楽しみだ。

(学ぶ楽しさを知った50代さん 伊集院町 50代男性)

メディア、情報化社会の現在、メディアをおおいに活用して地域活性化につなげたいものです。

先日、ふれあい飯牟礼館がテレビ放送、そして新聞に飯牟礼の里山が掲載された後の数日間は、ふれあい飯牟礼館の売り上げが伸びた。

今後もこのような情報網を生かすとともにその客に満足いただける製品、商品づくりに工夫・努力を重ねていきたいものです。

(飯牟礼矢筈さん 伊集院町 60代男性)



お便りありがとうございます!地域資源が今とても注目されていると聞いたことがあります。「東郷茂徳記念館」もとてもすてきな地域資源の一つですよ♪身近な所に注目してみる。とても大切なことな気がします!!

お便りありがとうございます!テレビや新聞をはじめメディアの影響はとても大きいものだと思います!!飯牟礼矢筈さんがおっしゃるように市としてもたくさん活用できるように頑張っていきたいと思います!!



4月に主人の異動に伴い、県内の他市から転居して参りました。日置市に住むのは初めての事です。早く地理やお店などを知りたいなあ・・・と思い、市の広報誌や情報誌などはなるべく目を通し、新鮮な気持ちで読ませていただいております。

3月まで住んでおりました市では広報誌(毎月の)にその街の「おいしいおはなし」の誌面があり、市内のお店が毎月載り、看板メニューが出ておりました。そんなコーナーがあると転入者やお友達が訪ねてきた時にもお連れできるのかなぁと思います。写真付きで載ると嬉しいです。ぜひご検討を。

(モモちゃんママさん 東市来町 50代女性)

P8「子は宝」です(広報ひおき8月号参照)。その宝である子どもを亡くした家族もいます。自分の命よりも大切な大切な赤ちゃんの命が消えてしまった家族もいます。子どもを授かることができない夫婦もいます。

いろんな思いを持った人も目にする広報誌です。「新年を笑顔で祝っちゃおう計画」。子どもの笑顔はかわいいですが、少し軽い表現が気になりました。命の奇跡や尊さが伝わって来る誌面になることを期待します。

(匿名希望さん)



お便りありがとうございます!日置市でようこそおいでくださいました!!日置市Lifeはいかがでしょう。また広報誌にご提案頂きましてありがとうございます。実は昨年まで同じような企画を掲載しておりました。もし機会があればご覧いただけますと幸いです。今後とも広報誌ともどもよろしく願い致します。

お便りありがとうございます。お便りを拝見させていただきハッとさせられました。私の配慮不足であり、誠に申し訳ありませんでした。偶然今月号の特集は1年前から企画していた命に関する記事です。記事を通して命に対しての考えを感じていただけますと幸いです。今後とも広報誌をよろしく願い致します。

